

【学校の教育目標】

・かしこい子 ・やさしい子 ・たくましい子

【目指す学校像】

学びと笑顔、元気あふれる学校



【３つのキーワード】

重なりの協調 柔軟な捉え方

愉快地に楽しく



自覚と積み重ね

校長 渡部 順一

新年あけまして、おめでとうございます。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。皆様には、晴れやかな令和6年辰年を迎えられましたことと、心よりお慶び申し上げます。

6年生は51日間、5年生は53日間、1から4年生は52日間の学校生活となる3学期ですが、この学期は、目まぐるしく時が経過していきます。

「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」

この言葉は、学校生活にもよくあてはまり、時間の流れがいつも以上に早くなります。無自覚では、学年のまとめとなる大切な時間が、あっという間に流れてしまいます。

そこで、この時を確実に掴むためには、次のことが重要になります。それは **自覚** です。

それでは、毎日を自覚的に生きるためにどうするか。例えば各学級では各自が、この3学期間の学校生活での「目標」を、いくつか設定します。これを意識して、学校生活を送ることが自覚的に生きることに結びつきます。学校生活だけでなくご家庭でも、何か目標や約束がしっかりと実行されると、いっそう好結果をもたらします。冬休みにがんばっていたことを続けるのも、とてもいいと思います

ただし、大人でも難しいのが自覚的な生活です。子供任せにすることなく、一つでも二つでも、粘り強く取組が続けられるよう、ていねいに指導、支援してまいります。自覚的に積み重ねた努力は、子供たちの健やかな成長に直結します。ご家庭でも、できる範囲でご協力ください。

学校と家庭の両面で、運動もよし、遊びもよし、学びもよしの3つのよしで自覚的な生活を実現し、よりよい3学期にしていきましょう。引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



【非常用持ち出し袋の例】

元日の午後4時10分ごろ、能登半島で最大震度M7の大地震が発生しました。災害に見舞われた方々に衷心より、お見舞い申し上げます

三郷市を含む埼玉県南東部地域でも、大きな横揺れを感じました。大地震などの災害は、いつ発生するか予測が困難です。ただ不安を抱くのではなく正しく恐れ、その時に備えたいものです。非常持ち出し袋などの物の備え、もしもの時のご家庭での約束や避難場所、避難方法の確認など、念のため、ご家庭でも話し合ってみてください。